

ご挨拶

- ①出身地
- ②研究内容
- ③趣味
- ④好きな言葉



就任のご挨拶

加治屋 幹人

大学病院 口腔検査センター 教授

*協力講座名「口腔先端治療開発学」

- ①神奈川県
- ②3次元培養と幹細胞を用いた口腔組織関連再生医療開発
- ③時間がないときの読書
- ④ローマは一日にして成らず

令和4年4月1日付けで広島大学病院 口腔検査センターの教授を拝命しました加治屋 幹人(かじや みきひと)と申します。この場をお借りしましてご挨拶申し上げます。

私は平成17年に広島大学 歯学部を卒業し、歯周病態学研究室(栗原 英見名誉教授)に入局いたしました。歯周病治療の研鑽を積みながら、歯周組織再生療法開発研究に従事してきました。特に、間葉系幹細胞から製造した3次元細胞構造体による細胞移植療法の開発や、創薬研究等に有効な新規実験系の樹立を目指してきました。これからの口腔検査センターでは、私の臨床・基礎の経験を活かし、検査に基づいた患者個人に最適な細胞治療法を提供するトランスレーショナルリサーチを推進していきたいと考えています。

口腔検査センターにとって、とても新しい挑戦になると思います。一層の努力をいたす所存でございますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

新設講座紹介



「口腔炎症制御学」共同研究講座のご紹介

宮内 睦美

大学院医系科学研究科 歯学分野 口腔顎顔面病理病態学 教授

(口腔炎症制御学 共同研究講座担当)

2022年4月1日付で、広島大学とアース製薬の産学連携関係を構築し、協働して研究を推進させるため、「口腔炎症制御学共同研究講座」を開設しました。アース製薬は、洗口液や液体はみがき類の研究開発を行っている企業で、日本でまだ洗口液が一般的でなかった1987年に、「日本人が毎日使いたくなるような洗口液」を誕生させました。口腔顎顔面病理病態学研究室では2017年より共同研究を開始し、ラット歯周炎モデルを用いたグリチルリチン酸の抗炎症効果を増強する植物抽出物探索と増強メカニズムの解析を行いました。その結果はアース製薬の3つの歯ぐきケア製品に活用され、既に販売されています。

本共同研究講座では、歯周病や口内炎などの口腔疾患を対象として、口腔疾患病態モデルの作製、病態モデル試験系を用いた抗炎症成分の探索、候補成分の抗炎症メカニズムを口腔病理学的、分子生物学的アプローチによって明らかにすることで、新規メカニズムに基づいた新たな口腔炎症制御法を構築してまいります。また、将来的に歯学分野の臨床講座と連携して新しい口腔炎症制御法の有効性を検証するための臨床研究を展開してまいります。これらを通し、基礎研究に基づいたオーラルケア製品開発が可能になると期待しています。口腔疾患を改善し、口腔健康を維持することを通じて、全身健康状態を改善・維持し、健康寿命の延伸に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。